

昭和34年度才入出予算

一般会計

才入	税	31,023,800
町地方交付税	24,600,000	
公営企業及び財産収入	1,080,000	
分担金及び負担金	2,288,800	
使用料及び手数料	2,676,000	
国庫支出金	5,821,795	
県支金	1,679,860	
寄附金	735,000	
繰越金	832,000	
雑収入	2,716,000	
繰入金	1,530,000	
雑収入	74,983,525	
才出	費	3,031,082
議役消土木育	18,478,280	
社健業	3,011,789	
保健業	6,366,980	
産産	9,270,253	
統統	11,531,255	
公諸	3,023,280	
予計	7,012,460	
支備	1,613,352	
	79,500	
	777,880	
	3,239,656	
	7,293,510	
	254,248	
	74,983,525	

特別会計

国保	18,735,300
簡水	1,746,000
業事	95,464,825

新年度予算のあらまし

一般会計 7千5百万円

本会議第一日
三月二十七日午前十時四十分開会
たにに日程に入る。
敬老年金条例等を審議
自の移った。敬老年金条例は、
老人福祉の大きな理由の明瞭な
議案として可決した。

本会議第二日
二十八日午前十時四十分開会
大月支所を再任した町長が、
町長は、建設の途にあり、
町長は、建設の途にあり、

本会議第三日
二十九日午前十一時十五分開会
新年度予算案を審議
議案の結果、各予算とも原案ど
り可決した。

ことしはこんな事業を
一般会計 百四十八万円増加
慎重な審議をつづけて編成された新年度予算のうち、直接住民
につながる数々の事業のうち、ことしの主なものをひらいて
解説してみよう。

全件を原案通り可決
三日間の慎重審議で
二万五千町民の福祉増進と大洗町の発展へ
注目の昭和三十四年度予算等二十五件を、
審議する才二回定例町議会は去る三月二十
七日から三日間にわたって審議し、二十九
日閉会いたしました。

外港調査 第二回目へ
調査費 百万円
漁業の振興と町の発展は港の建設
から、これは大洗町住民の合言葉
です。一日も早くこの実現を図る
べく、全町あげて奔走した甲斐があ
ります。昨年度から調査主体とな
り、調査を担うに当たっては、心
をこめて調査に当たって、町民の
協力を得ようとしています。本年も
調査に当たって、町民の協力を得
ようとしています。

道路舗装に努力

ことしは大洗まで
仲町から大洗神社
までの道路は、
前年度の調査結果、
道路の主要な
道路で、春から夏
にかけては大型
トラックなどが
通行するに
支障をきたす
恐れがある。こ
の舗装は、町民
の生活に大いに
役立つものと
期待されています。

町内の舗装修理も行う

このほかすでに舗装されている
道路の修理も、町民の生活に
支障をきたす恐れがある。こ
の舗装は、町民の生活に大
いに役立つものと期待されて
います。

81万円を計上

完全給食の実施へ
モデル校に大貫小学校
学校教育の重要な一
環として、大貫小
学校で一部給食を
行なうことになり
ます。この給食は、
町民の生活に大に
役立つものと期待
されています。



大洗神社付近の視光施設整備が進められており、散策道路にこのほど完成した『きのこ』のような形をしたコンクリートのモダンな『あづまや』です。いよいよ新緑のシーズンをむかえて、わが町も一段と活気づいてきたようです。

新樹海貫く道のありにけり
友次郎

敬老年金を支給

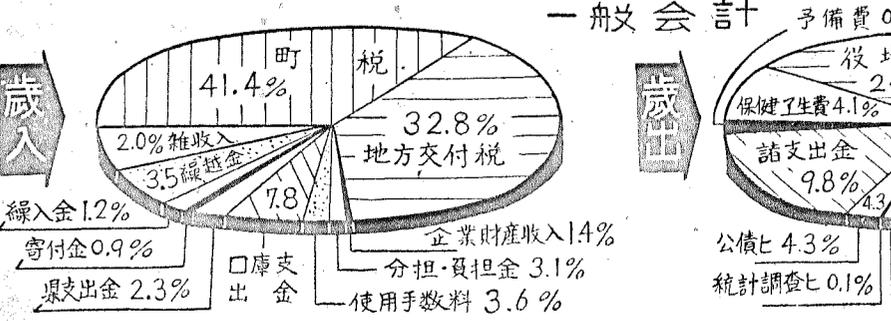
八十才以上の方々に
最近老人福祉ということが社会福
祉事業の一つにとりあげられ、老
後の生活をゆたかにするにはどう
したらよいか。老人の経済的安定
をはかるためにはどうしたらよ
いか。

才以上の者
2、右のものが四月一日現在で
引つづき六月以上大洗町に
居住した者、右の条件を具備
したものが受給資格者となる
わけであり、その者は町長に
届出その確認を受け、年金証
書の交付を受けることになり
ます。

主な議案

- 敬老年金条例の制定
- 国民健康保険条例の制定、国保
税条例の一部改正条例、国保運
営協議会条例の廃止
- 固定資産評価審査委員選任
支所廃止の条例
- 納税促進臨時措置条例の改正
- 特定手数料条例の改正
- 町有土地の利用承認について
昭和三十三年度追加予算
国保追加予算
- 昭和三十二年決算認定
昭和三十四年度才入出予算
水道予算

大貫支所廃止
軌道にのる新町建設
新生大洗町も合併後五年目に入り
産業の振興に教育の刷新強化に住
民の福利更正にと新しい町づくり
の建設計画にもとづいて力強いあ
ゆみをつづけています。



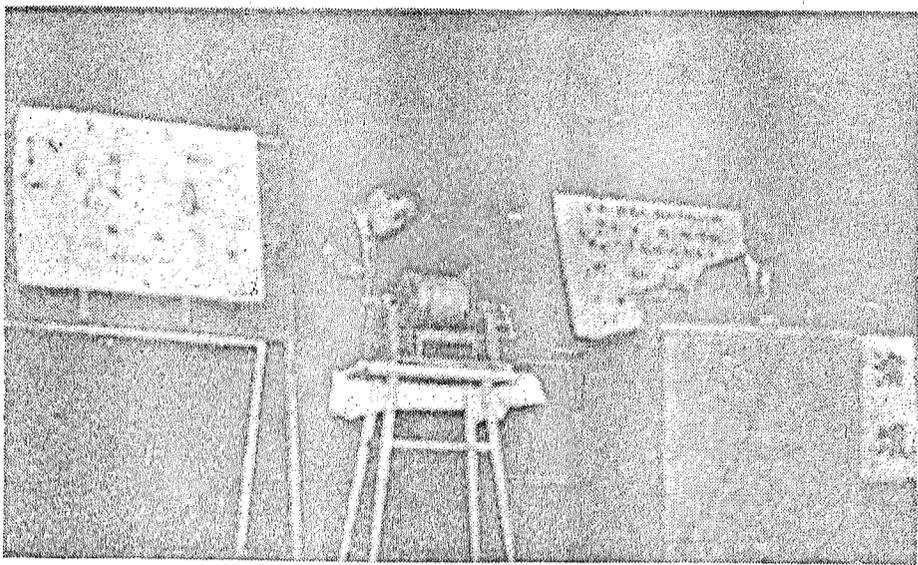
輝く

農林大臣賞を受く

大洗漁青の偉業

大洗漁協青年 度も同研究会の飛田君が代表 研究会では、に選ばれる二月二十五日より三 昨年水産業 日開農林省大ホールで開催された 改良普及研究 同大会に参加して全国より集つた 発表全国大会 漁業者約千五百名農林大臣をはじめ に茨城県を代 代表して参加し て『播揚機の利用とその応用』の 準優勝を遂げ 題で発表しました。

水産庁長官賞 各県代表の発表内容も実に充実し を獲得してき たものばかりで何れも甲乙はつけ 難く審査に難航をした様子であり



写真は農林省大ホールにおける発表壇上の飛田君

みんな協力して 青少年の補導を

昭和三十四年三月より明三十五年 二月迄本町が青少年の防犯地区と して県より指定を受けたので、町 分け全町民を会員として、大いに 三月十八日及四月十三日と二回 この方面に力を注ぐことにした。 ついては、具体案を決定する為各 種階層の代表者の参集を願ひ本 係代表者が説明を伺ひ懇談をした 度の重要施策の一つである社会

先生方の異動

四月一日づけて

夏海小学校へ
大貫小学校 田崎彰一先生
祝町小学校 吉川 積先生
祝町小学校 飛田 卓先生
祝町小学校 池田生子先生
夏海小学校 小林まさよ先生
祝町小学校へ

才二中学校長 大島静雄先生
磯浜小学校 小籠 進先生
磯浜小学校 菊地万子先生
才一中学校 和田直衛先生
才一中学校 古河市才一中学校より
才一中学校 川崎愛子先生
才二中学校 笠間小学校より
才二中学校 富田稔先生
才二中学校 東茨城郡長岡中学校より
才二中学校 山口二郎先生
才三中学校 水戸市才一中学校より
才三中学校 介川貞子先生
久慈郡上野中学校より

農林委員 田山喜平氏死去
町農業委員田山喜平氏は去る四月九日亡くなられました。

生前農業委員として町農業振興のため町に寄せられた御尽力と御功績に對し深甚なる感謝の意を表します。

納税貯蓄組合長 田山幸藏氏死去
大貫共栄納税貯蓄組合長田山幸藏氏は三月八日死去されました生前永年納税組合長として町財政確立に御尽力された御功績に對し深く感謝申上げるとともに慎んで哀悼の意を表します。

前原山開發の第一歩

町営住宅二十戸完工 三年間で合計七十戸

町営住宅二十戸完工 三年間で合計七十戸

町営住宅二十戸完工 三年間で合計七十戸

町営住宅二十戸完工 三年間で合計七十戸

手品の妙技に感歎

盛会だった婦人慰安会

第三回大洗町婦人慰安の集いは、昨年と全じ三月六日に大貫小学校講堂で十時五十分より茨城婦人の会より始つた。

会するもの三百数十名、磯浜大貫夏海三地区の婦人連の民謡民踊、育の充実を期し真に観光地にふさわしい地とすることを念願して居る。しかし成否の鍵は町民各位の絶大な支持によるので何卒住みよい町にするために切に御



最近の雑誌や週刊雑誌に『P R』というような欄がありま すがこれをよく Propaganda (宣伝) の略語と間違えてい る人があります。P Rとは、 Public Relation の頭文字を取った ものであります。 Public (公共) とは『公 共』という意 味 (Relation) (リレーション) は『関係』という意味。 この二つが一しよになつて 『公共関係』という意味にな ります。直訳すればそんな意 味になるのですが、いわば新 しい広告宣伝技術の一つです。 すなわち、ただ営利一点張りの 広告ではなく、その製品の 社会的価値や製造過程や製品 のつながりをもたせ、企 業経営と公共の関係を緊 密にしよというものがね らいであります。こうした広告 宣伝技術は、特にアメリカで 発達しており、マスコミ時代 に適した方法として、経営 政策上の重要な部分をなして います。

いね

普通苗代では八 十八夜を中心と 種子まきですが、 早植栽培では田 圃の時期です。 早植栽培の苗代 日数は三十五日 内外で苗が小さ いのでおくれが ちになります。

苗はたとえ小さくとも早く、務め て浅植にしましょう。田圃前に苗 代のうちにヒメトビウンカやツマ グロコバやイモも病予防のため、水銀剤加用パラチオン乳剤二 〇〇〇倍液を散布しましょう。普 通苗代は揚床苗代とし、なるべく 薄播きしましょう。苗代の初期に は、まだ冷えこみますから、晴天 の日には浅水し、夜は深水として 苗代の温度を高める工夫がたいせ つです。一週間くらいで芽が出ま

そ菜

ビニール利用のト マト、ナスなどの 果菜類の定植は、 上旬頃からはじま りますが最近早 出しで市場へ有利 に売込む傾向があ ります。しかしあ まり急ぎ過ぎて失 敗する例もきいて おりますので充分

むぎ

五月下旬には早生 麦の刈取りが始り ますが遅れないよ うに手順よく刈取 りましょう。 また気温の上昇、 梅雨期の前ぶれと して雨の多いとき には、さび病やウ ドン粉病が蔓延し ますから石灰、硫 黄合剤やダイセー ルを散布して蔓延 を防ぎましょう。

夏の健康を守りましょう

手はいつも清潔に

日本脳炎を流行させず

目と口と心で防ごう食中毒

カとハエを退治しよう